平成 28 年度里地里山保全利活用専門部会 取り組み(結果報告)について

検討事項

(1) 今年度の取り組みについて

- ・各取り組みの実施内容等の確認
- ・各取り組みの評価と今後の進め方

(2) 来年度の取り組みについて

・取り組み事項の検討

(3) その他

里-1 〈里山の利活用〉竹あんどんづくり

計画

概要・目的		概要 ・黒川地域の広町特別緑地保全地区の竹を活用し、地元小・中学生とともに、竹あんどんづくりを実施・将来的に地域のお祭りやイベント利用も想定 目的 【地場材の活用】黒川地域の緑地保全管理で伐採した竹材の活用 【地域交流】竹行燈づくりによる地元の子供との交流 【景観づくり】竹行燈を使った地域の魅力づくり
実施体制、対象者等		主催:川崎市みどりの協働推進課協力:黒川竹行燈の会、明治大学対象者:地元の小中学生(小学生は保護者同伴)
実施内容	実施予定日	平成 28 年 11 月 12 日(土)収穫祭
	実施場所	・竹の伐り出し:黒川地区内緑地 ・竹行燈づくり:農業用管理倉庫
	周知・PR	地元の小学校へのチラシの配布 区内庁舎でのチラシ配布、ポスター掲示 町内会掲示板のポスター掲示
	内容	①竹行燈づくり(参加費無料) ・地元の小中学生と竹行燈を作る。 (制作した竹行燈は参加者が持ち帰る。) (今後に向けて:制作した竹行燈を汁守神社の参 道などに設置し、地域の魅力づくりにつなげて いくことを検討。) ②里地里山の保全活動に対する意向調査 (保護者の方向け) ・子供の参加申込時に、保護者の方向けに、里地 里山の保全活動への参加意向などを調査し、今 後実施する保全活動体験イベントへつなげる。
	予算等	チラシ印刷費、材料費等
その他		_

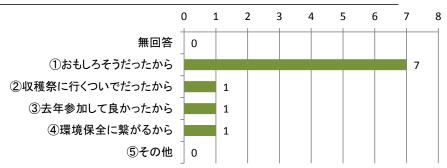
実施・評価

	実施日時	平成 28 年 11 月 12 日(土)9:00~11:45	
実施概要	実施場所	・竹の伐り出し:黒川地区内緑地 ・竹行燈づくり:農業用管理倉庫	
要	参加者数	子ども:8名、保護者:8名	
	実施状況(写真等)	9:00 農業用倉庫集合 9:15 竹を伐り出す 10:00 農業用管理倉庫 (制作開始) 1. 竹を切る 2. ライトを入れる穴を開ける 3. 穴を開ける絵を描く 4. ドリルで穴を開ける 11:30 みんなで鑑賞 11:45 終了	
	業者や参加者の声 な意見、感想)	●参加者の声(保護者の声) ・次回もイベントに子供を参加させたい。 ・小学校低学年でも参加できるイベントがほしい。 ・大人向けの竹行燈づくりをやってみたい。	
等	面と今後の進め方 (専門部会での検 『項)	し、ただし、参加者が小わかったため、立矢度字板の際には、首集対象地	
₹0	D他		

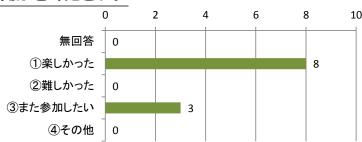
【里山保全活動体験に向けての意向調査】

調査日:平成28年11月12日(土) 回答者: 竹行燈づくりの保護者 8名

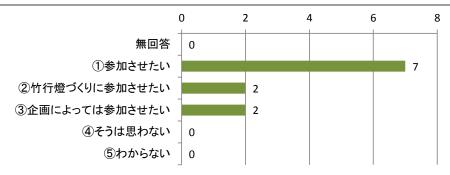
Q1 竹あんどんづくりイベントに参加したきっかけは何ですか。



Q2 本日の感想をお聞かせください。

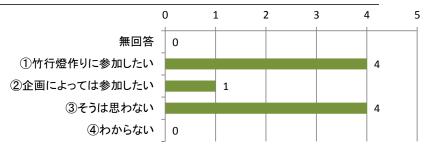


Q3 今後、黒川で子供向けイベント企画があったら、参加させたいですか。



※アイディア:自然が多いので何か自然なものを使ったイベント。 小学校低学年でも参加できるイベントがあるとなお良い。

Q4 大人向けの里山保全利活用の活動に参加してみたいですか。



Q5 今年度のイベント等の開催のお知らせを電子メールで配信して良いですか。

はい 7件 ・ いいえ 1件

里-2 里山保全活動体験

計画

概要・目的		概要 里山での保全活動体験(草刈りや竹伐りなど)を行い、里山の保全活動の担い手づくりにつなげるイベントを検討 目的 【里地里山の保全】黒川地域の里地里山環境の保全につなげる 【担い手づくり】将来的な担い手づくりに向け、黒川地域の里地里山を保全する人材を発掘・育成していく
実施体制、対象者等		主催:川崎市みどりの協働推進課協力:地元農業者、川崎市公園緑地協会 対象者:地元住民、他
	実施予定日	平成29年2月19日(日)
	実施場所	黒川よこみね緑地
実施内容	周知・PR	 ・(里-1) 竹行燈づくりに参加した保護者への呼びかけ ・区内庁舎でのチラシ配布 ・町内会掲示板のポスター掲示 ・川崎市公園緑地協会に登録されているボランティア団体への呼びかけ ・「緑と森の美術展 in 黒川」に出展した作家への呼びかけ
	内容	◆主な活動内容:下草刈り(アズマネザサ等の除伐) ・里地里山の保全活動の一環として、緑地に繁茂している下草(アズマネザサ等)を刈る。 ◆活動のポイント ・ササ刈りで雑木林が明るくなり、安全で生物多様性の高い里山がよみがえる。 ・散策路周辺のササを刈ることで、道幅が確保され、散策の場としての里山の利活用につながる。 ・手鎌を使ったササ刈りは誰でも参加でき、短時間でも成果が出て、達成感が得られる。
	予算等	チラシ印刷費等
その他		_

実施・評価

実施日時	平成 29 年 2 月 19 日 (日) 9:00~11:45
施 実施場所 要 参加者数	黒川よこみね特別緑地保全地区
要参加者数	9名(申込:10名)
実施状況(写真等)	■ 当日の流れ 9:00 はるひ野駅集合(受付) 9:15 開会式 9:30 黒川よこみね特別緑地保全地区 (作業開始) 1. 道具の配布 2. 作業説明 3. ササ刈り (休憩(15分) 4. 作業再開 5. 片づけ・道具の手入れ 11:45 閉会式・解散
主催者や参加者の戸(主な意見、感想)	 ・普段は出来ない体験ができて楽しかったです。 ・初めての体験で山がどんどんきれいになってゆくのを感じた。いい運動になり、リフレッシュできた。 ・林がきれいに明るくなった。風景が楽しめるように感じます。 ・目標としていた場所までササを刈りきれなかった。
評価と今後の進め7 等(専門部会での相 討事項)	
その他	

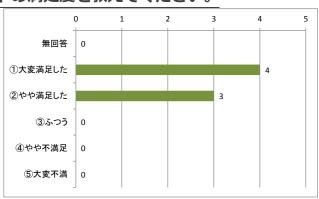
【里山保全活動体験に向けての意向調査②】

調査日:平成29年2月19日(日) 回答者:ササ刈り体験参加者 7名

Q1 今回の里山保全活動体験のイベントをどこで知りましたか。



Q2 今回のイベントの満足度を教えてください。



Q3上記の回答理由を教えてください

- ・普段はできない体験ができて楽しかったです。
- ・作業の簡便性があり、今後キンランが出るという話もありやりがいを感じる
- ・目標としていた場所までササを刈り切れなかった。
- ・初めての体験で、山がどんどんきれいになっていくのを感じられた。とてもいい運動になり、 リフレッシュできた
- ・林がきれいに明るくなった。風景が楽しめるように感じます。

Q4 里山の利活用として、竹林整備で出た竹を活用した竹行燈づくり等を行ってい

ますが、やってみたい活動などがありましたら教えてください。

竹ベンチ作り、シイタケづくり、体を使った体験、作品作り、里山散歩など

O5 現在、里山保全活動等の活動をされていますか。

活動している:3名(富士通川崎里山同好会、青少年野外教育センター、創造と森の声)

Q6 あなたの性別を教えてください

男性 5件 ・ いいえ 2件

Q7 あなたの年齢を教えてください。

20代:1件 40代:2件 50代:1件 60代:3件

Q8 今年度のイベント等の開催のお知らせを電子メールで配信して良いですか。

配信しても良い 4件 ・ 配信してほしくない 1件